

## 津波対策に関する緊急対応への申入れ

去る 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震の被害状況が連日報道され、マグニチュード 9.0 という記録的な破壊力の前に、なすすべなく犠牲となられた皆様の無念さと、幸いにも命だけは助かったものの、未だ復興の足がかりが見えずに避難生活を送っている多くの皆様に対し、お悔やみ、お見舞いを申し上げると同時に一日も早く、心安らぐ生活に戻られる事を願わずにはられません。

被災地に対し、世界各国から支援の手が差し伸べられ、静岡市においても災害発生直後に支援部隊を編成し、人命救助や支援物資の搬送等を行ってきましたが、被災地の早期復興に向け、更なる支援の拡大を市長のリーダーシップのもと、全市を挙げて実行していく必要があります。

静岡市は、東海沖地震による被害が想定されている耐震に対する対策を講じてきましたが、今回の東北地方太平洋沖地震で多くの犠牲者を出した最大の原因である津波被害に対する対策を早急に見直す必要があります。

私たち静岡市議会「新政会」は、被災地の早期復興支援という使命と、静岡市の津波対策強化という体制の再構築を早急に必要なと考え、以下の項目についての対応を申入れ致します。

国政及び地方自治において国民・市民の尊い人命を守るという最大の使命と相互扶助を果たすために、早急な判断と対応をお願い致します。

### — 言 己 —

1. 市及び市民の持っている人的、物的、経済的等あらゆる資源を最大限に活用し、きめ細やかな被災地支援強化の早期実施。
2. 被災者等を受け入れるための体制整備と早期受け入れの実施。
3. 支援のための適切な情報収集と発信による市民への周知をタイムリーに実施。
4. 静岡市内沿岸部及び河口流域における津波避難経路及び場所に関する体制整備と津波を想定した避難訓練の強化。
5. 市営住宅や学校施設等の公共施設及び民間耐震施設の高層階や屋上避難に関する避難場所の確保と緊急避難階段や屋上フェンス設置に関する整備。
6. 津波の被害想定図（ハザードマップ）を今回の地震による津波被害データ解析に基づいた修正と再構築。
7. 津波被害想定地域における消防団や自主防災会への定期的津波対策訓練と連携強化。
8. 災害用備蓄（食糧、飲料、燃料、医薬品等）を津波から守るための在り方再検討。

以上